

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 21日

埼玉県知事 殿



提出者

住 所 埼玉県日高市上鹿山689-5

氏 名 株式会社 猪俣産業

代表取締役 猪俣 利雄

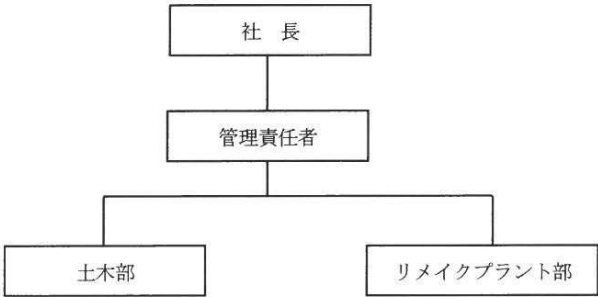
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 042-989-2272

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 猪俣産業
事業場の所在地	埼玉県日高市上鹿山689-5
計画期間	令和 5年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06 総合工事業
② 事業の規模	令和 4年度 元請完成工事高 28,000万円
③ 従業員数	15名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アスコンがら、コンクリートがら→破碎→再生骨材</li> <li>・建設汚泥→乾燥又は脱水→埋立処分</li> <li>・廃プラスチック類→破碎又は圧縮→リサイクルの材料又は埋立処分</li> <li>・木くず→破碎→再生利用</li> </ul>

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
 <pre> graph TD     A[社長] --&gt; B[管理責任者]     B --&gt; C[土木部]     B --&gt; D[リメイクプラント部] </pre>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	<b>【前年度（令和 4年度）実績】</b>		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	2741.00 t	t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当社は建設業のため、受注状況によって大きく変動するが、アスコンがら・コンクリートがらは自社工場又は他社の中間処理工場へ搬入し、破碎後、再生骨材として再資源化を図っている。</li> <li>・ 分別収集の実施</li> </ul>		
②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	2015.61 t	t
	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本年度に発生する産業廃棄物は、ほとんどが道路工事により発生するアスコンがらであり、中間処理施設へ搬入し破碎して、再生骨材として再資源化する。</li> <li>・ 社内教育の実施し廃棄物の発生抑制に努める。</li> </ul>		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有筋コンクリートは、小割にして鉄筋とコンクリートがらに分別するようにしている。</li> </ul>		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アスコンがらとコンクリートがらを分別し、中間処理施設へ搬入し破碎後再生骨材として再資源化するように努力する。</li> <li>・ 各現場単位の分別を徹底する。</li> </ul>		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1120.00 t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 当社の産業廃棄物の大半は、Asがら・Coがらであり自社の中間処理施設へ搬入し、破碎後再生骨材として再資源化している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1004.00 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 今後も現状を維持して行く。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	（これまでに実施した取組） _____		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	（今後実施する予定の取組） _____		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組) _____		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組) _____		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	1621.00 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.18 t	t
	再生利用業者への処理委託量	1621.00 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・できる限り工事現場近辺の処分業者を選定した。		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	1011.61 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	2.683 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1011.61 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・優良産業廃棄物処理業者を選定し、その業者に処理を委託する。		
※事務処理欄			

産業廃棄物処理計画書 別紙集計表

現状：前年度（令和4年度）実績量  
計画：今年度（令和5年度）計画量（目標）

単位：トン

産業廃棄物の種類	排出抑制		自ら再生利用を行った(行う)量		自ら行う中間処理		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)量		処理の委託										
	排出量		自ら熱回収を行った(行う)量		自ら中間処理により減量した(する)量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画			
コンクリートがら	4.00	4.00	4.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
アスコンがら	2705.00	2000.00	1116.00	1000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1589.00	1000.00	1589.00	1000.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
建設汚泥	0.90	0.81	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.90	0.81	0.00	0.00	0.00	0.00			
廃プラスチック類	0.82	0.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.82	0.80	0.82	0.80	0.00	0.00	0.00	0.00			
木くず	30.28	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	30.28	10.00	30.28	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
合計	2741.00	2015.61	1120.00	1004.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1621.00	1011.61	1621.00	1011.61	0.18	2.68	1621.00	1011.61	0.00	0.00	0.00